

★競技運営に関する申し合わせ事項（一般の部）★

- 県大会は、今年度野球規則及び競技者必携による他、下記の申し合わせ事項により行う。
1. 野球規則、競技者必携並びに本申し合わせ事項は、必ずチーム全員に徹底させること。
 2. ダッグアウトは、組合せ表の若い番号を1塁側とする。
(ただし、ダブルヘッダーの場合、時間の都合で変更することもありうる。)
 3. 競技に参加する各チームは、試合開始時刻60分前に球場に参集し、試合開始30分前までに、監督または主将が打順表を本部に提出すること。(必ずユニフォーム着用)
◎第2試合以降のチームは、前の試合4回終了時にメンバー表4部を提出のこと。
◎打順表には、登録されている者全員を記入(フルネーム・フリガナ)すること。
※大勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
 4. (1) 一般Aクラスの試合について
○試合は9回戦とする。
○延長戦は、準決勝戦までは、10回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦のみ延長戦を3回実施し、決しない場合は13回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦は無死1・2塁、打者継続、勝敗の決するまで行う。(今年度から変更)
○コールドゲームは、5回以降7点差とする。(決勝戦のみ7回以降7点差とする。)
○降雨、日没などで試合を変更する場合は、球場責任者の判断により両チームの監督に伝達する。
(2) 他のクラスの試合について
○試合は7回戦とする。
○延長戦は、準決勝戦までは、8回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦は延長戦を2回実施し、決しない場合は10回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦、コールドゲームなどについては、上記の一般Aクラスに準ずる。
○九州成年大会、日本スポーツマスターズ大会は指名打者制を採用する。
 5. 試合中は次の行為を禁止する。
(1) ベンチ内でのガム、喫煙。喫煙のために試合中にベンチ外に出ることは禁止する。
(2) ベンチからの好ましくない野次。
(3) プレイヤー、審判員に対する個人攻撃。(目にあまる行為は厳重に処分する。)
(4) ベンチ内での携帯電話及び携帯マイクの使用を禁ずる。メガホンは1個に限る。
 6. 試合はホームプレートを含んで挨拶のときに、正規のユニフォームを着用した10名以上の選手がいなければならない。
 7. 抗議のできる者は、監督または主将と当該プレーヤーのみとする。
 8. ランナーズコーチも必ずヘルメットを着用すること。
 9. 次打者は、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。
 10. 試合をスピーディーに行うため、攻守交代は駆け足で行うこと。投手の投球練習は1回目と投手交代時は、7球(1分以内)2回以降は4球以内とする。
 11. 攻守交代の最後のボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ることに。
 12. 試合中、選手がスパイクの紐を結び直すため等のタイムは認めない。攻撃中ベンチ内で締め直すように心掛けること。2塁打を打ち手袋を走者用に変えることは認めない。
 13. ファウルボールは一塁側、三塁側へ飛んだ方向のベンチ側が処理し、中間は攻撃側チームが処理する。主審へのボール渡しも適時攻撃チームが行うこと。
 14. 試合中、内野手の転送球は一廻り以内とし、定位置付近で行うこと。
(試合状況により制限することもある。)
 15. アンフェアな行為、スポーツマンシップに則しない行為は慎むこと。
(インターフェア、オブストラクションを厳しく適用する。)
 16. 試合中はみだりにベンチから出ないこととする。キャッチボールは2組迄とする。
 17. 球場内では、練習中でもユニフォーム(統一したもの)を着用すること。
 18. 天候状況によりサングラスの着用は認めるが、帽子のツバに乘せることは禁ずる。
 19. 捕手は安全のためファウルカップを着用すること。
なお、投球練習時の捕手は、必ずマスクを着用することとする。
 20. 試合終了後のグラウンド整備は必ず両チームで行うこと。ベンチの清掃も行うこと。